個別対策コース: 「復旧復興 | 2月12日(木)~13日(金)

09:30-10:45 11:00-12:15 13:15-14:30 14:45-16:00 16:15-17:30 復旧・復興プロセスと概要 廃棄物処理 被災者生活再建支援 応急仮設住宅の確保 復興計画とまちづくり 被災者の復旧・復興プロセス 復旧・復興の第一歩となる災 被災者生活再建支援法な 応急仮設住宅の用地確保や 早急に復興するための計画 12 の全体像について学びます。 害瓦礫の撤去とその処理の実との復興法制構造や適用範囲を強い、住民の選者・入所までの一策定手法と復興まちづくり事例 態について、事例に基づき学びを学びます。 一連の流れを学びます。 を基に実務を理解します。 経済復興支援 復旧・復興推進上の課題 復興計画作成ワークショップ 全体討論•閉講 災害事例等から、復旧・復興 大規模災害時の、復興準備室から復興本部設置、復興計画 参加者の意見交換から、災 被災地の復興における経済

る留意点などを演習形式で考えます。

防災基礎コース:「防災基礎」1月27日(火)~28日(水)

期における被災者の実態と施

	1	2	3	4	5
	09:30-10:45	11:00-12:15	13:15-14:30	14:45-16:00	16:15-17:30
	危機管理総論	災害法体系	防災計画	地震発生メカニズム	地震災害の実態(事例)
	6 危機管理の基本的な考え 7 方と実務上のとらえ方を学びま す。	災害対策基本法・災害救助 法などの構造や適用範囲、権 限、財源の概要を学びます。	防災計画の法的な位置づけ を理解し、有効活用方策と補 完プログラムを学びます。	地震災害の発生メカニズム と、地震による物理的被害を理 解します。	東日本大震災で対応業務に 従事した行政職員の経験談か ら、災害対応の教訓を学ぶ。
	火山災害のメカニズムと 実態(事例)	風水害のメカニズムと実態 (事例)	災害対応過程と!	態度を学ぶ(演習)	全体討論•閉講
۶ 2	ります。 と、火山災害の発生メカニズムと、火山噴火及び降灰、火山	風水害の発生メカニズムと洪水、十砂災害、高潮による被害	災害発生後に被災者が直面で で具体的に理解し、行政の対応	する様々な課題を時間軸に沿っ を被災者の視点から考えること	参加者の意見交換から、災害対応に関する考え方を深め

標準的な履修モデル

自治体の対応を学びます。

13 復興の重要性を理解し、経済

日 復興方策について学びます。 策実施の課題を学びます。

Case 1 災害対応の経験の浅い危機管理監や災害対策課 長など防災責任者

日の土石流による被害を理解し、を理解し、自治体の対応を学びの意味を学びます。





総合管理コース「総合」で、総 合調整能力を全般的に養います。

加えて、住民の生命・財産に直 結する判断を迫られる「警報・避 難」について、個別対策コースで 理解を深めます。

■会場

有明の斤基幹的広域防災拠点施設 東京都汀東区有明3丁目

●アクセス

有明の丘基幹的広域防災拠点施設は、首都直下地震等の大規模な災害発生時 に、現地における被災情報のとりまとめや災害応急対策の調整を行う「災害 現地対策本部」等が置かれる首都圏広域防災のヘッドクォーター及び広域支 援部隊等のベースキャンプ、災害医療の支援基地として、東扇島地区(川崎 市)の物流コントロールセンターと一体的に機能する防災拠点施設です。

Case 2 防災業務の経験はあるが実際には災害対策本部 の設置経験の無い防災責任者



策定までの流れを踏まえ、復興会議運営と復興計画策定におけ

総合管理コース「広報」で、住 民にどのように向き合い、災害対 応方針をどう語るかを具体的に学 びます。

害対応に関する考え方を深め

ます。

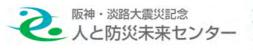
加えて、地域防災計画や被害想 定を使った、平常時の「減災対 策」を個別対策コースで学ぶこと により、住民への情報提供のあり 方について理解を深めます。



実施主体



介画・運営



Science Craft 株式会社サイエンスクラフト

巨大災害に備えて

防災スペシャリスト養成研修(有明の丘)



内閣府(防災)

内閣府(防災)では、「危機事態に迅 速・的確に対応できる人」、「国・地方 のネットワークを形成できる人」を「防 災スペシャリスト! に求める人材像と定 め、国や地方公共団体等の職員を対象と した「防災スペシャリスト養成研修」に 取り組んでいます。

その一環である有明の丘基幹的広域防 災拠点を会場として実施する本研修は、 防災スペシャリストに求める能力は役割 に応じて異なるという観点から、「本部 運営の中枢的役割を担う職員し、「個別 課題の対応に専門的に従事する職員」 「防災部門への新任職員」を対象に、 「総合管理」、「個別対策」、「防災基 礎上の3コースを整備しました。



総合管理コース

本部運営の中枢的役割を担う 職員を対象とした 3つのコース 各2日間

組織の運用上不可欠な総合調整を行う上で 必要となる「知識」「技能」「態度」を身につ けます。どのような状況においても、正しい心 構えで、的確かつ迅速に判断・実行する能力を 習得するための演習を活用します。

個別対策コース

個別課題の対応に専門的に従 事する職員を対象とした 6つのコース 各2日間

応急 予防

「減災対策」「警報避難」「御卿·被烤特 「訓練企画」「選製容·被災者支援」 (物資物流・広域で)

る上で必要な「知識」や「技能」を身につけ ます。状況に応じて適切な対応を行うための 個別課題に応じた「態度」についても習得し

防災基礎コース 防災部門への新任職員を 対象とした 1つのコース 2日間

「防災基礎」

防災活動を行う上で前提となる「知識」 や、活動を行う上で身につけておくべき 「態度」など、防災業務の遂行に必要不可 欠な基礎知識、態度を習得します。

個別課題に特化し、その課題への対応を図

CURRICULUM

防災活動に必要な能力を確実に身につけるために、受講者が強化したい項目に応じて自由に選択し、組み合わせて履修できるカリキュラムを実施します。それぞれのコースを履修することに より、「防災スペシャリスト」が実施する防災活動のうち、どの活動の能力を身につけることができるかがわかるようになっています。 ※ 実際の研修カリキュラムは、変更される場合がありますので、あらかじめご了承ください。

日 形式で考えます。

カリキュラム



日	月	火	水	木	金	土
1/25	26	27	28	29	30	31
		防災	基礎	物資物流	·広域行政	
2/1	2	3	4	5	6	7
	総	合	警報	避難		
8	9	10	11	12	13	14
	避難収容・	被災者支援		復旧	復興	
15	16		18	19	20	21
		計画	立案	訓練	企画	
22	23	24	25	26	27	28
		広	報	減災	対策	

総合管理コース「総合」2月2日(月)~3日(火)

		1	2	3	4	5
		09:30-10:45	11:00-12:15	13:15-14:30	14:45-16:00	16:15-17:30
	2	組織マネジメント	本部組織体制・ICS	計画立案・活動調整	災害対策本	部運営訓練
2	月 2 日	災害対応に必要な「災害対応の3原則」と「活動の心構え・ 取組姿勢」を学びます。	災害対応組織における標準 的組織体制や対応手法の理論 を学びます。	目標管理型災害対応の理論 と具体的な対応計画立案・活 動調整手法を学びます。	災害発生後の限られた情報の 決定し、計画を立案し、活動を訴 法を学びます。	中で状況を推測し、対応方針を 引整しながら、実行を管理する手
	2	情報分析•罗	官行管理訓練	模擬記	者会見	全体討論▪閉講
月 3 日	月 3 日	り 災害対応時の具体的なテーマを設定し、初動〜応急期における 災害対応のための情報分析と実行管理の考え方を学びます。		公共団体の長や幹部は、被災者にどう向き合い、どう語るのか を学びます。		参加者の意見交換から、災 害対応に関する考え方を深め ます。

総合管理コース「計画立案」2月17日(火)~18日(水)

	1	2	3	4	5
	09:30-10:45	11:00-12:15	13:15-14:30	14:45-16:00	16:15-17:30
2	組織マネジメント	被害予測•被害軽減	情報収集・分析演習	計画立案	・意思決定
	組織におけるリスクマネジメントの重要性と、事業継続の手法について学びます。		情報収集と分析手法について、地理空間情報を活用した 災害対応を学びます。		里型災害対応の理論と対応計画
2	災害対策本	部運営訓練	情報分析•3	官行管理訓練	全体討論∙閉講

18 検討し、計画を立案し、活動を調整しながら、災害対策本部会 る災害対応のための情報分析と実行管理の考え方を学びます。 害対応に関する考え方を深め

総合管理コース「広報」2月24日(火)~25日(水)

災害発生後の限られた情報の中で状況を推測し、対応方針を

日 議において対策を決定する手法を学びます。

25 学びます。

日

	10.000	~ -/ J - · - · (/ //	() //		
	1	2	3	4	5
	09:30-10:45	11:00-12:15	13:15-14:30	14:45-16:00	16:15-17:30
	2 組織マネジメント	災害広報(概論)	情報対応の実態	広報資料	作成訓練
2	月 災害対応に必要な「災害対 24 応の3原則」と「活動の心構え・ 取組姿勢」を学びます。	災害時の多様な情報提供方法、報道機関対応の概要・課題を学びます。	過去の災害事例を基に、災害報道が社会に及ぼす影響について学びます。。		
:	2 模擬記	者会見	情報伝達と情報管理	マスコミ対応の実態	全体討論∙閉講
F	月 公共団体の長や幹部は、被災者	舌にどう向き合い、どう語るのかを	自治体の災害広報における	過去の災害事例を基に、報道	参加者の意見交換から、災

法を具体的な事例を基に学び

情報伝達と情報管理	マスコミ対応の実態	全体討論·閉講
	過去の災害事例を基に、報道	参加者の意見交換から、災
「広報内容の検討」の手順と方	関係者から災害報道の実態に	害対応に関する考え方を深め

災害発生時の具体的なテーマを設定し、初動~応急期におけるか加者の意見交換から、災

ます。

ます。

	1	2	3 13:15 14:20	4	5
	09:30-10:45	11:00-12:15	13:15-14:30	14:45-16:00	16:15-17:30
2	模範的な取組事例	訓練企画運営実践 討議型	型図上演習(イメージトレーニング)	訓練企画運営実践 討議	型図上演習(エスノグラフィー)
月 19 日	各地域で実施されている防 災に関する模範的な取組事例 を学びます。		興業務に係る訓練の企画運営の	訓練手法の実践例の一つであ 人を対象とした訓練の企画運営	
2 月 20 日	訓練手法の実践を経験し、災害対策本部運営訓練の企画運 営の考え方を学びます。			、評価・改善手法 その評価と既往の計画等にフィー 学びます。	全体討論・閉講 参加者の意見交換から、災 害対応に関する考え方を深め ます。
	個別対策コース:	序防 「減災対策 」 2 月	月26日(木)~27日	(金)	

	個別対策コース: (ラ	〈:《予防》「減災対策 」 2 月 2 6 日(木)~ 2 7 日(金)			
	1	2	3	4	5
	09:30-10:45	11:00-12:15	13:15-14:30	14:45-16:00	16:15-17:30
2	BCM	地域防災計画	防災思想・知識の普及	活動準備 I (災害対策	传本部空間配置実習)
月	各公共機関におけるBCMの意	地域防災計画の法的な位置	災害発生直後からの災害対	災害対策本部のレイアウトの重	要性、または適切なレイアウトの
26	味と重要性について、事業継続	づけを理解し、計画を有効活用	応の概念と普及する方策を学	考え方について、演習を交えて学	がます。
\Box	ガイドラインを含め学びます。	する方筈を学びます。	7/デます。		

2	活動準備Ⅱ(マニュアル作成手法実習)	自助・共助促進、防災啓発の企画実習	全体討論▪閉講
月	災害対応をプロジェクトマネジメントの枠組みで理解し、実効性	地域で災害発生直後の状況を理解し、個人や地域で行うべき	参加者の意見交換から、災
27	の高いマニュアルを作成するための手法および概念を演習形式	防災対策のあり方とそれを関係者が考える流れを演習形式で学	害対応に関する考え方を深め
日	で学びます。	びます。	ます。

応急 個別対策コース: 「物資物流・広域行政」1月29日(木)~30日(金)

月 被災者への、救援物資の調 救援物資の輸配送等で必要 災害事例等から、救援物資 企業や個人等から自発的に 大規模広域災害時の			_	_		-
月 被災者への、救援物資の調 救援物資の輸配送等で必要 災害事例等から、救援物資 企業や個人等から自発的に 大規模広域災害時の 変わら輸送・保管・配布に至る となる道路の確保や緊急車両 の調達・提供業務における課 提供される物資・ボランティアの受 る救援物資供給の計画		09:30-10:45	11:00-12:15	13:15-14:30	14:45-16:00	16:15-17:30
29 達から輸送・保管・配布に至る となる道路の確保や緊急車両 の調達・提供業務における課 提供される物資・ボランティアの受 る救援物資供給の計画	1	救援物資調達▪供給	交通確保と緊急輸送	物資調達・供給上の課題	自発的支援の受入	国における活動体制
The state of the s	月	被災者への、救援物資の調	救援物資の輸配送等で必要	災害事例等から、救援物資	企業や個人等から自発的に	大規模広域災害時の国によ
日 全体像について学びます。 の手続きなどを学びます。 題について学びます。 入について学びます。 等について学びます。 等について学びます。	29	達から輸送・保管・配布に至る	となる道路の確保や緊急車両	の調達・提供業務における課	提供される物資・ボランティアの受	る救援物資供給の計画・体制
	日	全体像について学びます。	の手続きなどを学びます。	題について学びます。	入について学びます。	等について学びます。

3

広域的応援における課題 広 広域的な応援体制 月 大規模災害時に、知事会や 災害事例等から、広域的な 30 応援協定等に基づき行われる 応援受援の実態と課題につい 応接 日応援について学びます。

2

て学びます。 おけ

は域応援・受援ワークショップ	物資調達演習	全体討論▪閉講
数援物資や人的派遣など、 援および受援活動の実施に ける留意点などを学びます。	救援物資の調達から輸送・保 管・配布に至る一連の活動にお ける留意点を学びます	参加者の意見交換から、災害対応に関する考え方を深めます。

5

参加者の意見交換から、災

ます。

		個別対策コース:(応	忘急 「警報避難」2月	4日(水)~5日(木)		
		1	2	3	4	5
		09:30-10:45	11:00-12:15	13:15-14:30	14:45-16:00	16:15-17:30
	2	警報避難対策の枠組	警報等の種類と内容	警報等の伝達上の課題	警報等の	伝達実習
		災害発生直前対策としての 警報と避難誘導について基本 的な考え方を学びます。	気象庁、国交省・都道府県から発表される気象警報や河川 情報などについて学びます。	気象予警報等や避難勧告等 を住民に伝達し行動を促す際 の課題を学びます。		問知するための様々な手法を学 いて演習します。
	2	避難勧告・指示等の判断・伝達	避難勧告・指示等の実態と課題	避難勧告等の	判断•伝達訓練	全体討論•閉講

り 判断する手順等について字び 日 ます。	等の発令判断、伝達の実態と 課題について学びます	等の判断、発表、伝達の流れを	害対心に関する考え万を深め ます。		
個別対策コース: 応急 「避難収容・被災者支援」 2月9日(月)~10日(火)					
1	2	3	4	5	
09:30-10:45	11:00-12:15	13:15-14:30	14:45-16:00	16:15-17:30	
災害救助法	避難収容	避難所運営ワークショップ		医療活動	

台風接近時などのシナリオに沿って、気象予警報や避難勧告

実態を学びます。

1	2	3	4	5
09:30-10:45	11:00-12:15	13:15-14:30	14:45-16:00	16:15-17:30
2 災害救助法	避難収容	避難所運営ワークショップ		医療活動
_ """	避難所(福祉避難所を含む) の配置や指定、周知など事前 対策について学びます。	住民やNPOなどと協働しながら、避難所の開設から、住民の収容、運営、閉鎖をするまでの流れや留意点を、ワークショップ形式で学びます。		避難者の健康対策(医療・保健)について学びます。
つ 亜配度多対応ワークショップ		被災者生活面建支援	災害数助法の運用	全休討論。問講

2	要配慮者対応	5ワークショップ	被災者生活再建支援	災害救助法の運用	全体討論∙閉講
月	高齢者や障害者、幼児、外国	人等など配慮を要する住民の避	被災者生活再建支援法など	避難所の運営や生活支援に	参加者の意見交換から、災
10	難 収 変 わ 片 子 玉 遅 計 笙 に む は	るの音占め運動をロークショップ	の復興法制構造お済用新田	かかわる災害赦助法の運用の	宇が広に関する老う古た深め

を学びます。